



ちびっこ チャンピオン

「えの木シーパラダイスへ
いらっしや~い!!」

えの木保育園

(左から)

- こがねざき ここ みさん (6さい)
- あらかわ しんぺいくん (5さい)
- にしざき な の かさん (6さい)
- やまうち ま な かさん (5さい)
- しまかわ あ き らくん (6さい)
- しまかわ ゆ う りさん (5さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



このコーナーでは
誕生日を迎えたチ
ビッコ達をご紹介します



かめかわ みつき
亀川 美月ちゃん
(正道尻) R元年8月29日
「お姉ちゃんになってきたね」



さとう みゆ
佐藤 心結ちゃん
(横機) R5年8月4日
「元気いっぱいになって大きくなってね♡」



さかざき てんえい
阪崎 天栄くん
(風合瀬) R2年8月27日
「これからもいっぱい笑って楽しい思い出作ろうね!」

草創教育長の 「今月の一枚」

男らしさ・女らしさ

小さい頃、口の悪い上級生からよく「オナゴ」とバカにされました。ひ弱で、見た目お上品に見えたのでしよう(笑)

母も、気概のない息子の行く末を案じたのか、男ズもの泣ぐな! エヘラエヘラど笑うな! よげ喋るな! と、「男らしさ」を刷りこもうとしました。

泣くな、笑つな、喋るな? へば、ワ、どへばいんずよ? どへば男らしくなれるんず? と、悩んだものです。

「男は三年に片類」という言葉があります。男が威厳を保つには、三年に一度片方の頬に笑みを浮かべるくらいが丁度よい、という意味です。武士の心得を説いた、古いことわざです。

男たるもの、感情をおさえ、苦難に耐え、力強く生きるべし。この典型的なステレオタイプの「男らしさ」が、ずっと昔から、日本人の意識下にすわり続けたのです。そして、大人たちは男子にそれを一方的に、そして無意識に刷りこんできました。

ラグビー選手の「笑わない男」も、「男は黙ってOOビル」のCMも、「ワンパクでもいい、遅く育てて...」のハムのCMも、「男らしさ」の刷りこみです。

今風に言えばジェンダーバイアス型にはめた「男らしさ・女らしさ」を押しつける、偏見や差別のことです。

「女らしさ」の押しつけは、もっとしこく強力かもしれません。特に戦後は、国家経済復興の名のもと、家や子を守り自己を犠牲にして献身的に男につくす女性を、理想像として祭り上げました。あらゆる文化が、男性優先社会の後押しをしました。

演歌に登場する女性像がわかりやすい。来ない男を港で待つ、恋に破れて北へ旅立つ、男の幸せを祈って身を引く...演歌は耐える女のオンパレードです。

どうせなら、石川さゆりの「天城越え」を私は推したい。世間に背き、いばらの道を進むことをあえて選んだ女の覚悟が迫ってきます。「耐える女はもうたくさん。」「女らしさ」はもっと多様な! ジェンダーバイアスに負けるな! 行け! 天城峠を越えろ! という応援歌にも聞こえます。(あくまでも非常に個人的な解釈です)

ちなみに、もし、私が今の子どもなら、ランドセルは迷わず好きな色・黄色を選びます。

え? 黄色は「オナゴ」の色? それ、ジェンダーバイアスですよ。(教育長 草創 文人)

